

=岐阜高専=

第1回FD講演会を開催

岐阜高専は、5月10日に「第1回FD講演会」を同校多目的ホールにおいて開催した。本講演会は、年2回開催され魅力ある授業の計画および実施への取り組み事例を紹介することにより、受講者の意識向上を図ることを目的としている。

今回は、平成28年度にCTT+ Classroom Trainerの認定を受けた、同校一般科目(人文) 空健太准教授による「授業を設計・構成する力 ―教科教育学の知見を踏まえて―」と題した講演が行われ、62名の教職員が参加した。

教科教育学の知見から、①授業を設計する際、何のために、何を、どのように教えるのか関連して考えること②経験則だけではない授業をすること③授業についての仮説を検証する場ととらえること、の3点の説明があった。

また、高専では、各科目の領域固有の内容にとらわれることなく、一般科目並びに専門科目で共通する「学び」を効果的にすることに主眼があることから、インストラクショナルデザインなどの教育工学や認知心理学も、授業設計や指導の場で大いに活用できるとの説明があった。

講演終了後には活発な質疑と意見交換が行われ、同校教職員の授業改善についての意識が一層深まる良い機会となった。



講演を行う空准教授